





村上昭夫の生涯について語る岡澤君

あのおとなしい、引つ込み... 思案の昭夫さんをお母さん... 「うちの昭夫は、金火署...」

変身した。ところが、せつかく職を... 得て働いて三、四年たった... ある日、肋骨カリエスとい...

とのできない敵を殺さない... 方がいいように、早くこの世... 界がなりましますように。その...

「若手サトリウム」時... 代は、彼よりも半年くらい... 後に結核の病気を得て入院...

人という詩人です。大坪さん... 「Ia」という雑誌を主宰して、そ...

めに絶対に必要だった人と... 出会うのです。そういった... 雑誌を主宰して、そ...

人の作品を批評し、昭夫さ... んの詩が次第に実存とい... ことに目覚めるプロセスを...

をされ、彼はやがてその死... の壁をたじろぐことなく見... 据えて、詩をさらに深めて...

死の壁を通して不動のもの... になっていくわけではな... いです。ですから、彼の「死の眼鏡」...

詩人としての自己形成期... それぞれの期間に、昭夫... さんは、彼を詩人として育... てた非常に大事な人と巡り... 合うのです。

●岡澤敏男君略歴... 旧15回生、旧姓小泉。... 盛岡農専卒、釜石南高校... 教授を執った後、日動...

自己確立期... ところがここで、昭夫さ... んが詩人として確立するた... るのです。

今年8月と11月の若手日... 報紙上社会面に、若手高校... 物理部の名がスポットライ... トを浴びた。いずれも記事... は7段の大見出しである。

成功で快拳... フロンガスは空気中に放... 出されると、紫外線で塩素... 原子が分離し、オゾン層を... 破壊するので回収、処理と... いうことが成功したという... も一つはその実験が三省...

物理部で実験に使ったの... は車のエアコンなどに使わ... れるフロン12。電子レン... ジの中においた炭素繊維に... 「独自性認められた」

「昨年以來「超電導」な... どで母校物理部は名を馳せ... ているが、中学応募者の中... には「超電導」にとり組ん... だみだいの入学を希望し... たという生徒もいるとい... う。

